

平成26年8月6日

## 道の駅「うきは」でパネル展を開催！

～東日本大震災・九州北部豪雨及び道路老朽化対策のパネルを展示～

国土交通省福岡国道事務所では、災害による施設等の被災状況、啓開・復旧への取組事例及び道路老朽化対策における取り組みについて、以下のとおりパネル展を実施します。

### 【東日本大震災、九州北部豪雨】

平成23年3月11日に発生した巨大地震が引き起こした東日本大震災、平成24年7月11日～14日に九州北部地方で発生した九州北部豪雨はともに甚大な被害をもたらしました。

復旧、復興は今も続いておりますが、地域の防災力の向上と被災地への思いを風化させないようにするとともに、地域・世代を超えて今回の教訓を共有していきます。

### 【道路老朽化対策】

高度経済成長期に、集中的に建設された橋梁などの道路構造物は、今後急速に高齢化し、10年後には建設後50年を経過する橋梁が4割以上になると見込まれます。

国土交通省では構造物の計画的な点検により早期に損傷を発見し、重大な損傷に至る前に対策を実施する予防保全による維持管理により、道路ストックの長寿命化の取り組みを強化し、道路ストックを長く大切に保全するとともに、安全で安心な道路機能の確保を図っていきます。

### 記

場 所：道の駅「うきは」（福岡県うきは市浮羽町山北729-2）

日 時：平成26年8月11日（月）～平成26年8月20日（水）

※今後の台風11号の影響により延期する場合があります。

展示内容：東日本大震災・九州北部豪雨の災害記録、道路老朽化対策への取り組み

### 《問合せ先》

国土交通省 九州地方整備局 福岡国道事務所

電話：092-681-4731（代表）

事業対策官 後藤 清正（内線 408）

計画課長 船井 敏勝（内線 451）



## 福岡国道

国土交通省九州地方整備局  
福岡国道事務所

# 展示パネルの例

## 40.1メートルの観測史上最大の津波。

東海が震った後、北関東・東北・関東地方の太平洋沿岸を巨大な津波が襲いました。14時49分には岩手・宮城・福島に大津波警報が発令。一時は、半州日本海側を除く日本全国の海岸でも大津波警報が発令されました。

地震から2日後の3月17時58分の津波注意警報解除までの長時間、津波に対する警戒は続きました。

過ぎた津波は斜波にその痕跡を残し、在半橋大船渡市観測所で40.1mを観測しました。

これは観測史上最大の津波に観測されたこれまで最も高い3.2mを上回るものでした。

【大津波警報、警報、注意報の分布】

最大津波高 40.1m  
最大津波高 18.3m

岩手県大船渡市観測所  
岩手県大船渡市

写真提供: 日本気象協会

## 困難な作業。使命感に支えられ、体を張った。地元建設会社

涙が止まらなかつた

2011年3月11日の震災から約1年が経ちました。余震と津波の被害が重なり、多くのご遺族が心をなやませられず、被災地を離れられずにいます。被災地を支援するべく、地元建設会社は、使命感に支えられ、体を張って作業を続けています。

被災地を支援するべく、地元建設会社は、使命感に支えられ、体を張って作業を続けています。

岩手県大船渡市

## 避難の駅となった、道の駅。

道の駅では避難者を受け入れ、水や食糧、情報などを提供。

東北地方の道の駅では、被災者から感謝の多くの言葉を聞かれました。また、支援物資の準備や食料の提供をはじめ避難のしるし、通行規制などの情報提供も行っています。

被災地を支援するべく、地元建設会社は、使命感に支えられ、体を張って作業を続けています。

## 九州北部豪雨による水害

写真提供: うきは市

## 美しいふるさとの姿を再び取り戻すために

写真提供: うきは市

## 迫り来るインフラ老朽化の波

厳しい環境にさらされて損傷した橋梁

首都高速 1号羽田線 東品川橋

H23.9 撮影

## 道路メンテナンス 橋を守る技術

愛媛県 国道33号 つづら川跨道橋

H26.2 撮影